

(参考)一般世帯における消費支出額の地域差の推移

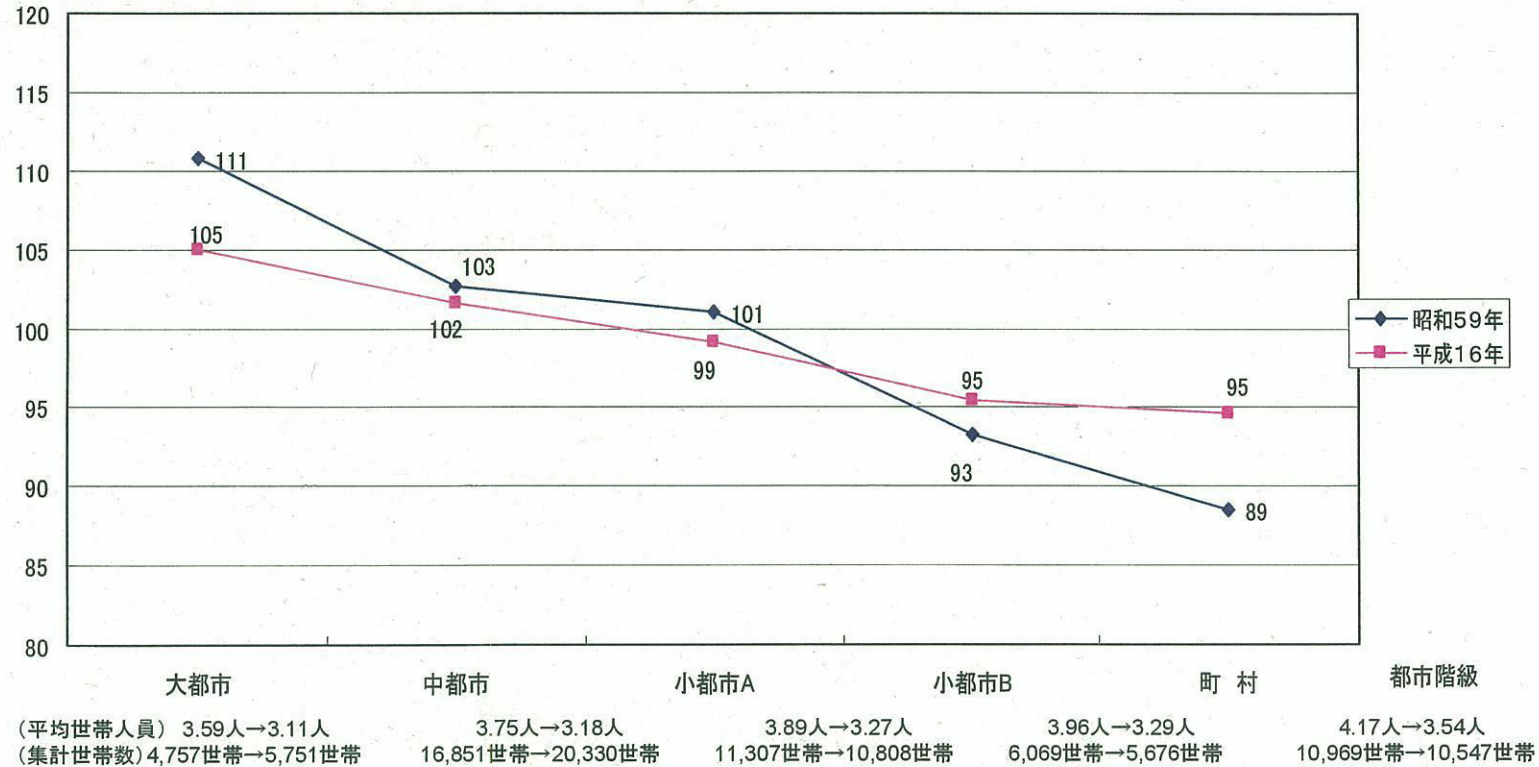
一般世帯における都市階級別1人あたり消費支出額等の推移(2人以上全世帯の昭和59年と平成16年の比較)

一般世帯における消費支出額及び生活扶助相当支出額の地域差は共に縮小する傾向

①消費支出額

1人あたり消費支出額の推移(2人以上全世帯)

指数(全国平均=100)



資料: 全国消費実態調査

注1) 都市階級 大都市: 政令指定都市及び東京都区部、中都市: 人口15万以上100万未満の市(大都市除く)、小都市A: 人口5万以上15万未満の市、小都市B: 人口5万未満の市

注2) 1人あたり消費支出額は「1世帯あたりの消費支出額」÷「平均世帯人員の平方根」により算出した。

V 市町村合併による級地変更の影響について

市町村合併による級地変更のあった人口等の推計

表の見方

上段：級地変更のあった自治体数(H12→17)
中段：級地変更のあった人口の割合
下段：級地変更のあった被保護人員の割合

		平成17年における級地					
		計	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1
平成12年における級地	計	525	4	16	118	37	350
		3.9%	0.2%	0.1%	1.2%	0.4%	2.0%
		2.8%	0.2%	0.1%	0.9%	0.3%	1.3%
	1-2	1	1				
		0.1%	0.1%				
	2-1	2	2				
		0.1%	0.1%				
	2-2	3			3		
		0.0%			0.0%		
	3-1	44	1	7	30	6	
		0.7%	0.0%	0.1%	0.6%	0.1%	
	3-2	475		9	85	31	350
3.0%			0.0%	0.6%	0.3%	2.0%	
2.1%			0.0%	0.4%	0.2%	1.3%	

資料：国勢調査、福祉行政報告例。級地変更のあった人口、被保護人員は平成17年における推計値。

推計方法：市部と郡部別に、人口を平成12年から平成17年の増加率で推計し、平成17年の保護率を乗じることで被保護人員を推計した。